

可能にする独自の最新機能。

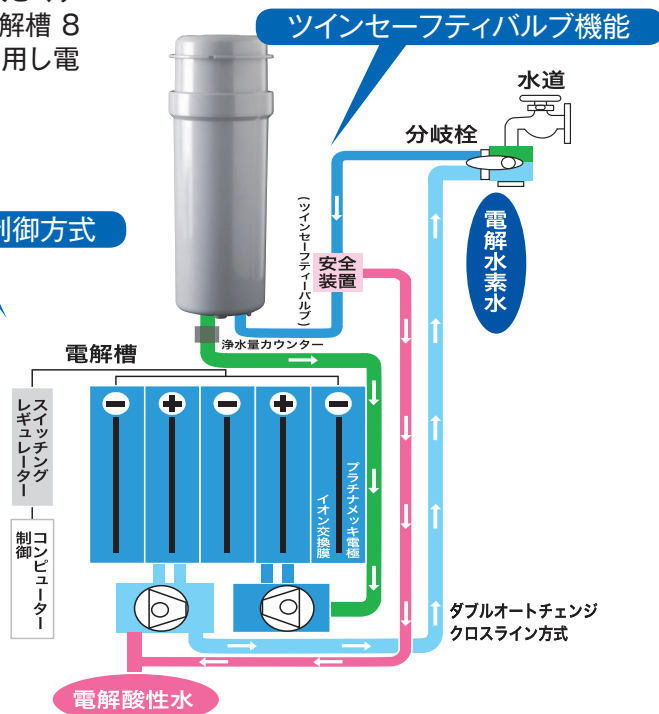
高効率多層型電解槽プラチナメッキ5枚電極

水の電気分解を効率的にするためには水の単位体積当たりの電気量を大きくすることが必要です。RW-6は4電解槽8層に分かれた多層型電解槽を採用し電解効率を高くしています。

本体内部の水道水圧が過剰に高くなった場合に備え、セーフティバルブ機能を採用しています。

スイッチング・レギュレーター制御方式

水道水は、季節・温度・地域等によってその水質が異なります。安定した電解水素水を生成するためには、電気分解する水に対して一定の電流を流さなければなりません。還元剤シリーズは電流を優先的に設定し、電圧を自動的に選択するスイッチング・レギュレーター制御方式を採用し、水質の変化に対応して安定した電解水素水を生成します。



大型液晶パネル

溶存水素量(目安)と機器の状態が一目でわかる→

電解水素水の溶存水素量の目安を電解条件により算出し推測値を液晶画面に表示できるようになりました。

さまざまな情報を大型液晶パネルに表示します。

- ・現在生成されている水の種類を文字と色でお知らせ、用途をイラストにて表示
- ・カートリッジ累積使用量と累積使用時間
- ・お客様相談窓口のフリーダイヤル

モードと新pHの目安

①下図のpH目安は、原水が標準の水道水の割合の数値です。

(原水の標準をpH:6.5~7.5とする)

②原水の遊離炭酸が多い・硬度が低い場合は、水素水のpHは低くなる傾向です。→ターボ機能を活用

③原水の硬度が高い・浜辺や島の場合は、水素水のpHは高くなる傾向です。→レベル2又は1使用

スイッチ	整水モード	レベル	用途	pH目安*	水素水 強 (飲用) 水素量 480ppb	水素水 3 (飲用) 水素量 300ppb	水素水 2 (飲用) 水素量 200ppb	水素水 1 (飲用) 水素量 80ppb
①水素水スイッチ	電解水素水モード	強	調理用	9.0~10.5				
		3	飲用	8.5~9.9				
		2	飲用	8.0~9.5				
		1	飲用	7.5~9.0				
②浄水スイッチ	浄水モード		飲用	電解なし				
③酸性水スイッチ	酸性水モード	弱	洗顔用	4.5~6.8				
		強	洗浄用	3.5~5.5				
④ターボスイッチ	ターボ機能 電解水素水モードで通水中にのみ操作できます。		pHが上がらない地域		ターボ 水素量 510ppb			

* pHは水質(地域・季節・水温)によって異なります。

** 飲用する場合は pH10未満であることを確認してからご使用下さい。

**液晶パネルはイメージです。

液晶表示一覧

電解水素水モード

水素水 強 (調理)

水素水 3 (飲用)

水素水 2 (飲用)

水素水 1 (飲用)

浄水モード

浄水 (薬・ミルク)

酸性水モード

酸性 (弱)

通水量 3.7ℓ/分

酸性 (強)

通水量 3.8ℓ/分

※水素量表示は電解条件により算出した推測値です。